様式第２号の１－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	国際ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容学科	夜・通信	1550 時間	160 時間	
	ﾋﾞｭｰﾃｨﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ学科（ﾒｲｸ・ﾈｲﾙｺｰｽ共通）	夜・通信	978 時間	160 時間	
	ﾄｰﾀﾙｴｽﾃﾃｨｯｸ学科	夜・通信	1083 時間	160 時間	
	＊ｴｽﾃﾃｨｯｸﾋﾞｭｰﾃｨ学科	夜・通信	1083 時間	160 時間	
（備考）＊2020 年度入学者より、ﾄｰﾀﾙｴｽﾃﾃｨｯｸ学科名称をｴｽﾃﾃｨｯｸﾋﾞｭｰﾃｨ学科に名称変更					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_kamoku.pdf

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	国際ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページ情報公開：
https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_rizi.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	団体職員	2019 年 6 月 1 日～2023 年 5 月 31 日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019 年 6 月 1 日～2023 年 5 月 31 日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019 年 6 月 1 日～2023 年 5 月 31 日	教育統括的観点
非常勤	団体職員	2020 年 3 月 31 日～2023 年 5 月 31 日	政策的観点
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画の作成・公表に係る取組の概要）

●授業計画（シラバス）に沿い、各学科実務教員・外部講師からの講義及び演習・実習形式にて授業を実施。専門テキスト及びオリジナルテキストを活用、グループワーク等も取り入れながら、学生理解度・習得度向上を目指す授業進行を遂行。

●授業計画（シラバス）の作成過程
前年カリキュラム（シラバス）を基本としつつ、各学科担当者より学生の専門知識・技術・　検定、資格取得状況を確認し、改善点を選定。各業界ニーズの意見提案等を反映できる科目を選定。より実践的教育を学生に提供できるよう授業計画（シラバス）を作成。

●授業計画の作成・公開時期
９月　前期授業振返り、後期・次年度に向けてのシラバスの調整
11 月　学校運営方針・各学科指導方針の決定
12 月　今年度シラバス総括（進度・内容・目標達成度合・成績評価方法等、再検討）
１月　次年各学科科目及び年間スケジュール確定
２月　時間割・シラバス確定
３月　ホームページ公表

授業計画書の公表方法	学校ホームページＵＲＬ： https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_kyakkanteki.pdf

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）
（１）　評価の時期
ａ．成績評価は原則として各科目毎にその終了時で１回の評価をする。
ｂ．成績評価は、検定取得状況、平日の授業態度、確認テスト、レポート、出席率、ホームワーク状況、科目終了時の考査等の資料によってなされる。
（２）　算出の方法
ａ．成績評価はＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄの５段階とする。
ｂ．検定関連科目は、検定結果を中心に評価する。
ｃ．検定のない科目は科目終了時に試験、レポート、出席率等で評価する。
（３）　評価基準
ａ．検定による評価を行う科目は、検定毎にそれぞれ評価基準を決定する。
ｂ．検定結果によらない科目では、おおむね以下の基準に従って評価する。
１００点満点換算で次の基準をめやすとする。
Ａ（100～80）　Ｂ（79～70）　Ｃ（69～60）　Ｄ（59～0）
（４）　考査資格
科目終了時に当該科目の出席率を集計し８０％以上の出席率のない者は考査の対象とならない。従って成績いかんにかかわらず、Ｄ評価となり追試を受験する。
但し、７０％以上の出席率のない者は科目保留となり、追試も受験できない。
（５）　追試験
ａ．Ｄ評価のものは追試を行い学習の機会を与える。
ｂ．追試後の合格者は原則としてＣ評価とする。
ｃ．追試に合格しないものは科目保留となり、卒業・進級時に認定試験を受験する。
ｄ．追試、認定試験を受験する場合は別途受験料を納入する。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

●成績評価はＡ，Ｂ，Ｃ，Ｄの５段階とする。

●１００点満点換算で次の基準とする。
Ａ評価（100～80）　Ｂ評価（79～70）　Ｃ評価（69～60）　Ｄ評価（59～0）

●ＧＰＡとは、客観的指標の設定には、「Ａ評価」から「Ｄ評価」に、
それぞれ所定のポイントを掛けた合計点を総科目数で割り、スコアを算出します。
そのスコアをもとに成績分布を算出します。

（Ａ評価×４Ｐ×科目数）＋（Ｂ評価×３Ｐ×科目数）＋（Ｃ評価×２Ｐ×科目数）＋（Ｄ評価×１Ｐ×科目数）÷総科目数＝スコア

※分布表別紙参照

客観的な指標の算出方法の公表方法	学校ホームページＵＲＬ：https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_kyakkanteki.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ●学校長は、教育課程の定めるところにより、学年毎に修了すべき科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。 ただし、実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。 本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。 ●学則の定める全年次の授業時間数を履修していること。 全学年の科目評定が全てＣ評価以上であること。 全年次の学費が納められていること。 上記を卒業判定会議において、審査し、卒業・留年を決定します。 なお、卒業認定試験の合。格を卒業条件に付け加える場合があります。 ●本校では、以下のような能力を身につけ、且つ所定の基準を満たした学生に対して卒業を認定します。 ・専門的知識技術の修得及び一般教養・知識など社会人としてのトータルバランスを備えていること ・誰からも愛される日頃からの笑顔、挨拶、素直さ、思いやりを持つ「スマイル&サービス力」を備えていること ・これからの業界の多様性を受入れる意識と柔軟性、グローバル的視野を備えている ※別紙にて教育目標（3つのポリシー）参照	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校ホームページＵＲＬ： https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_nintei.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	国際ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_taisyaku2.pdf」
収支計算書又は損益計算書	https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_syushi.pdf
財産目録	https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_zaisan.pdf
事業報告書	https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_kanzi.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

【美容学科】

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td colspan="2">課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td colspan="2">専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">衛生</td><td colspan="2">衛生専門課程</td><td colspan="2">美容学科</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2" colspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="8">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td colspan="2">講義</td><td colspan="2">演習</td><td colspan="2">実習</td><td colspan="2">実験</td><td colspan="2">実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2 年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2" colspan="2">2010 単位時間／単位</td><td colspan="2">761 時間</td><td colspan="2">1509 時間</td><td colspan="2">―時間</td><td colspan="2">―時間</td><td colspan="2">―時間</td></tr>
<tr><td colspan="10">2270 時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
240 人	188 人	0 人	10 人	5 人	15 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

●授業計画（シラバス）に沿い、各学科実務教員・外部講師からの講義及び演習・実習形式にて授業を実施。専門テキスト及びオリジナルテキストを活用、グループワーク等も取り入れながら、学生理解度・習得度向上を目指す授業進行を遂行。

●授業計画（シラバス）の作成過程

前年カリキュラム（シラバス）を基本としつつ、各学科担当者より学生の専門知識・技術・検定、資格取得状況を確認し、改善点を選定。各業界ニーズの意見提案等を反映できる科目を選定。より実践的教育を学生に提供できるよう授業計画（シラバス）を作成。前年３月に公表（予定）

成績評価の基準・方法

（概要）

●評価基準

ａ．検定による評価を行う科目は、検定毎にそれぞれ評価基準を決定する。

ｂ．検定結果によらない科目では、以下の基準に従って評価する。

１００点満点換算で次の基準を目安とする。

Ａ（100～80）　Ｂ（79～70）　Ｃ（69～60）　Ｄ（59～0）

卒業・進級の認定基準

（概要）

●学則の定める全年次の授業時間数を履修していること。

全学年の科目評定が全てＣ評価以上であること。

全年次の学費が納められていること。

上記を卒業判定会議において、審査し、卒業・留年を決定します。

なお、卒業認定試験の合格を卒業条件に付け加える場合があります。

学修支援等

（概要）

・定期試験でＤ評価となった場合、追試験・再追試を受験し、Ｄ評価以上の場合、単位を認めＣ評価とする。

・就職活動等公欠基準・病欠等で定期試験を受験することが出来なかった場合、後日の定期試験受験を認める。

・規定の出席率に満たない者は、救済措置として進級及び卒業に必要な時間数を放課後等に補習・補講で補うことができる。

・重要検定、資格受験前には、通常授業以外の特別授業等を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
105 人 （100%）	0 人 （0%）	102 人 （97%）	3 人 （3%）
（主な就職、業界等） ・主な就職先：美容室・まつ毛エクステンションサロン・結婚式場　等			
（就職指導内容） ・就職実務授業・業界外部講師授業及び業界情報提供・インターンシップ制度 ・独自の就職ガイダンスの実施　等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・美容師国家資格・カット、カラー、メイク国際資格取得・着付資格 ・まつ毛エクステンション資格　等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
209 人	9 人	4.3%
（中途退学の主な理由） ・心的疾患・進路変更・意欲低下・人間関係構築・生活習慣・妊娠		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・入学前、入学当初のグループワーク居場所づくり・定期的な個別面談 ・人間力向上教育（目標の明確化と達成へのモチベーション）学費相談　他		

【ビューティプロデュース学科】

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
衛生		衛生専門課程	ﾋﾞｭｰﾃｨﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ学科 (ﾒｲｸｱｯﾌﾟｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰｺｰｽ		○		―
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1800 単位時間／単位	421 時間	1521 時間	―時間	―時間	―時間
			1933 時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
70 人	83 人	0 人	3 人	13 人	16 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）　《ﾋﾞｭｰﾃｨﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ学科ﾒｲｸ》
（概要） ●授業計画（シラバス）に沿い、各学科実務教員・外部講師からの講義及び演習・実習形式にて授業を実施。専門テキスト及びオリジナルテキストを活用、グループワーク等も取り入れながら、学生理解度・習得度向上を目指す授業進行を遂行。 ●授業計画（シラバス）の作成過程 前年カリキュラム（シラバス）を基本としつつ、各学科担当者より学生の専門知識・技術・検定、資格取得状況を確認し、改善点を選定。各業界ニーズの意見提案等を反映できる科目を選定。より実践的教育を学生に提供できるよう授業計画（シラバス）を作成。前年３月に公表（予定）
成績評価の基準・方法
（概要） ●評価基準 ａ．検定による評価を行う科目は、検定毎にそれぞれ評価基準を決定する。 ｂ．検定結果によらない科目では、以下の基準に従って評価する。 １００点満点換算で次の基準を目安とする。 Ａ（100～80）　Ｂ（79～70）　Ｃ（69～60）　Ｄ（59～0）
卒業・進級の認定基準
（概要） ●学則の定める全年次の授業時間数を履修していること。 全学年の科目評定が全てＣ評価以上であること。 全年次の学費が納められていること。 上記を卒業判定会議において、審査し、卒業・留年を決定します。 なお、卒業認定試験の合格を卒業条件に付け加える場合があります。
学修支援等
（概要） ・定期試験でＤ評価となった場合、追試験・再追試を受験し、Ｄ評価以上の場合、単位を認めＣ評価とする。 ・就職活動等公欠基準・病欠等で定期試験を受験することが出来なかった場合、後日の定期試験受験を認める。 ・規定の出席率に満たない者は、救済措置として進級及び卒業に必要な時間数を放課後等に補習・補講で補うことができる。 ・重要検定、資格受験前には、通常授業以外の特別授業等を実施

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th colspan="2">専門士</th><th colspan="2">高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">衛生</td><td>衛生専門課程</td><td colspan="2">ﾋﾞｭｰﾃｨﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ学科
（ﾈｲﾙｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄｺｰｽ）</td><td colspan="2">○</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="6">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">２年</td><td rowspan="2">昼間</td><td rowspan="2">1800 単位時間／単位</td><td>412 時間</td><td>1521 時間</td><td>時間</td><td>－時間</td><td>－時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">1933 単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td colspan="2">うち留学生数</td><td colspan="2">専任教員数</td><td colspan="2">兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="3">ﾒｲｸｺｰｽの内数</td><td colspan="2">0</td><td colspan="4">ﾒｲｸｺｰｽの内数</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）　《ﾋﾞｭｰﾃｨﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ学科ﾈｲﾙ》
（概要） ●授業計画（シラバス）に沿い、各学科実務教員・外部講師からの講義及び演習・実習形式にて授業を実施。専門テキスト及びオリジナルテキストを活用、グループワーク等も取り入れながら、学生理解度・習得度向上を目指す授業進行を遂行。 ●授業計画（シラバス）の作成過程 前年カリキュラム（シラバス）を基本としつつ、各学科担当者より学生の専門知識・技術・検定、資格取得状況を確認し、改善点を選定。各業界ニーズの意見提案等を反映できる科目を選定。より実践的教育を学生に提供できるよう授業計画（シラバス）を作成。前年３月に公表（予定）
成績評価の基準・方法
（概要） ●評価基準 ａ．検定による評価を行う科目は、検定毎にそれぞれ評価基準を決定する。 ｂ．検定結果によらない科目では、以下の基準に従って評価する。 １００点満点換算で次の基準を目安とする。 Ａ（100～80）　Ｂ（79～70）　Ｃ（69～60）　Ｄ（59～0）
卒業・進級の認定基準
（概要） ●学則の定める全年次の授業時間数を履修していること。 全学年の科目評定が全てＣ評価以上であること。 全年次の学費が納められていること。 上記を卒業判定会議において、審査し、卒業・留年を決定します。 なお、卒業認定試験の合格を卒業条件に付け加える場合があります。
学修支援等
（概要） ・定期試験でＤ評価となった場合、追試験・再追試を受験し、Ｄ評価以上の場合、単位を認めＣ評価とする。 ・就職活動等公欠基準・病欠等で定期試験を受験することが出来なかった場合、後日の定期試験受験を認める。 ・規定の出席率に満たない者は、救済措置として進級及び卒業に必要な時間数を放課後等に補習・補講で補うことができる。 ・重要検定、資格受験前には、通常授業以外の特別授業等を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40 人 （100%）	0 人 （0%）	34 人 （85%）	6 人 （15%）
（主な就職、業界等） ・主な就職先：化粧品販売会社・美容室レセプション・ネイルサロン　等			
（就職指導内容） ・就職実務授業・業界外部講師授業及び業界情報提供・インターンシップ制度 ・独自の就職ガイダンスの実施　等			

（主な学修成果（資格・検定等）） ・美容師国家資格・カット、カラー、メイク国際資格取得・着付資格 ・まつ毛エクステンション資格　等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71 人	4 人	5.6%
（中途退学の主な理由） ・心的疾患・進路変更・意欲低下・人間関係構築・生活習慣・妊娠		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・入学前、入学当初のグループワーク居場所づくり・定期的な個別面談 ・人間力向上教育（目標の明確化と達成へのモチベーション）学費相談　他		

【トータルエステティック学科】

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
衛生		衛生専門課程	ﾄｰﾀﾙｴｽﾃﾃｨｯｸ学科		○		―
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1800 単位時間／単位	578 時間	1357 時間	－時間	－時間	－時間
			1935 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	14 人	0 人	2 人	9 人	11 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）　《ﾄｰﾀﾙｴｽﾃﾃｨｯｸ学科》
（概要） ●授業計画（シラバス）に沿い、各学科実務教員・外部講師からの講義及び演習・実習形式にて授業を実施。専門テキスト及びオリジナルテキストを活用、グループワーク等も取り入れながら、学生理解度・習得度向上を目指す授業進行を遂行。 ●授業計画（シラバス）の作成過程 前年カリキュラム（シラバス）を基本としつつ、各学科担当者より学生の専門知識・技術・検定、資格取得状況を確認し、改善点を選定。各業界ニーズの意見提案等を反映できる科目を選定。より実践的教育を学生に提供できるよう授業計画（シラバス）を作成。前年３月に公表（予定）

成績評価の基準・方法
（概要） ●評価基準 ａ．検定による評価を行う科目は、検定毎にそれぞれ評価基準を決定する。 ｂ．検定結果によらない科目では、以下の基準に従って評価する。 １００点満点換算で次の基準を目安とする。 Ａ（100～80）　Ｂ（79～70）　Ｃ（69～60）　Ｄ（59～0）
卒業・進級の認定基準
（概要） ●学則の定める全年次の授業時間数を履修していること。 全学年の科目評定が全てＣ評価以上であること。 全年次の学費が納められていること。 上記を卒業判定会議において、審査し、卒業・留年を決定します。 なお、卒業認定試験の合格を卒業条件に付け加える場合があります。
学修支援等
（概要） ・定期試験でＤ評価となった場合、追試験・再追試を受験し、Ｄ評価以上の場合、単位を認めＣ評価とする。 ・就職活動等公欠基準・病欠等で定期試験を受験することが出来なかった場合、後日の定期試験受験を認める。 ・規定の出席率に満たない者は、救済措置として進級及び卒業に必要な時間数を放課後等に補習・補講で補うことができる。 ・重要検定、資格受験前には、通常授業以外の特別授業等を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 （100%）	0 人 （0%）	19 人 （100%）	0 人 （0%）
（主な就職、業界等） ・主な就職先：エステティックサロン			
（就職指導内容） ・就職実務授業・業界外部講師授業及び業界情報提供・モニターサロン実習・独自の就職ガイダンスの実施　等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・AEA 上級エステティシャン資格・エステ国際資格・アロマテラピー検定・ダイエット検定・サービス接遇検定資格・パソコン検定　等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状（トータルエステティック学科）		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	1 人	2.9%
（中途退学の主な理由） ・人間関係構築・病気・生活習慣		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・入学前、入学当初のグループワーク居場所づくり・定期的な個別面談 ・人間力向上教育（目標の明確化と達成へのモチベーション）学費相談　他		

【エステティックビューティ学科】　※2020 年度 4 月生よりﾄｰﾀﾙｴｽﾃﾃｨｯｸ学科から名称変更

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
衛生		衛生専門課程	ｴｽﾃﾃｨｯｸﾋﾞｭｰﾃｨ学科		○		―
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼間	1800 単位時間／単位	578 時間	1357 時間	－時間	－時間	－時間
			1935 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
15 人	15 人	0 人	ﾄｰﾀﾙｴｽﾃﾃｨｯｸ学科の内数		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）　《ｴｽﾃﾃｨｯｸﾋﾞｭｰﾃｨ学科》
（概要） ●授業計画（シラバス）に沿い、各学科実務教員・外部講師からの講義及び演習・実習形式にて授業を実施。専門テキスト及びオリジナルテキストを活用、グループワーク等も取り入れながら、学生理解度・習得度向上を目指す授業進行を遂行。 ●授業計画（シラバス）の作成過程 前年カリキュラム（シラバス）を基本としつつ、各学科担当者より学生の専門知識・技術・検定、資格取得状況を確認し、改善点を選定。各業界ニーズの意見提案等を反映できる科目を選定。より実践的教育を学生に提供できるよう授業計画（シラバス）を作成。前年３月に公表（予定）
成績評価の基準・方法
（概要） ●評価基準 ａ．検定による評価を行う科目は、検定毎にそれぞれ評価基準を決定する。 ｂ．検定結果によらない科目では、以下の基準に従って評価する。 １００点満点換算で次の基準を目安とする。 Ａ（100～80）　Ｂ（79～70）　Ｃ（69～60）　Ｄ（59～0）
卒業・進級の認定基準
（概要） ●学則の定める全年次の授業時間数を履修していること。 全学年の科目評定が全てＣ評価以上であること。 全年次の学費が納められていること。

上記を卒業判定会議において、審査し、卒業・留年を決定します。
なお、卒業認定試験の合格を卒業条件に付け加える場合があります。

学修支援等

（概要）
・定期試験でD評価となった場合、追試験・再追試を受験し、D評価以上の場合、単位を認めC評価とする。
・就職活動等公欠基準・病欠等で定期試験を受験することが出来なかった場合、後日の定期試験受験を認める。
・規定の出席率に満たない者は、救済措置として進級及び卒業に必要な時間数を放課後等に補習・補講で補うことができる。
・重要検定、資格受験前には、通常授業以外の特別授業等を実施

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
0 人（0%）	0 人（0%）	0 人（0%）	0 人（0%）

（主な就職、業界等）
・主な就職先：エステティックサロン

（就職指導内容）
・就職実務授業・業界外部講師授業及び業界情報提供・モニターサロン実習・独自の就職ガイダンスの実施　等

（主な学修成果（資格・検定等））
・AEA 上級エステティシャン資格・エステ国際資格・アロマテラピー検定・ダイエット検定・サービス接遇検定資格・パソコン検定　等

（備考）（任意記載事項）
※2020 年 4 月名称変更学科につき、卒業生なし

中途退学の現状（エステティックビューティ学科）　※2020 年度 6 月 1 日現在

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
・入学前、入学当初のグループワーク居場所づくり・定期的な個別面談
・人間力向上教育（目標の明確化と達成へのモチベーション）学費相談　他

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
美容	30,000 円	390,000 円	550,000 円	
ﾋﾞｭｰﾃｨ ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ	30,000 円	39,0000 円	550,000 円	
ﾄｰﾀﾙ ｴｽﾃﾃｨｯｸ	30,000 円	390,000 円	550,000 円	
ｴｽﾃﾃｨｯｸ ﾋﾞｭｰﾃｨ	30,000 円	390,000 円	550,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 学校ホームページURL：https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_jikohyouka.pdf
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
●基本方針：本校は教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努める。専修学校における学校評価ガイドラインを踏まえ、学校が行っている学生意識調査、保護者アンケート、その他の資料に基づく自己評価に対して、学校関係者評価委員会から毎年度末に評価を受ける「学校関係者評価」を実施し、その結果を公表するとともに、その結果を踏まえた学校の改善に取り組む。 ●学校評価者委員：卒業生・美容企業代表者にて構成され、下記評価項目に沿い評価 ●評価項目：1.教育理念・目標　2.学校運営　3. 教育活動　4. 学修成果　5. 学生支援 6.教育環境　7. 学生の受入れ募集　8.財務　9. 法令等の遵守　10. 社会貢献・地域貢献 ●評価の実施方法：毎年２月（年度末）学校関係者との会議を実施。今年度自己評価状況を報告。学校関係者より、指摘等ご意見収集。その後、上記学校関係者評価項目毎に学校関係者より評価を頂く。 ●評価結果の活用方法：自己評価報告書に対する学校関係者委員会の意見をもとに、学校運営及び教育活動に活用。学校関係者委員会の意見、評価結果はホームページ上で公表すると共に教職員にも開示し意見や提案等を収集。改善が可能な項目については実施している。また、学校関係者からの具体的な指摘では「美容業界に限らず近年の新入社員のコミニュケーション力や自立性、継続性の低下傾向にある」「退学者の低減」については、美容学科及び学校全体の課題として入学から卒業までの長期スパンで取組んでいる。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
Be　happy　Ｌａｕｇｈ 国際ﾋﾞｭｰﾃｨﾓｰﾄﾞ専門学校　校友会	2018 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日	企業・卒業生
株式会社　板倉庄三のサロン	2018 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日	企業
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 学校ホームページＵＲＬ：https://www.beauty-mode.ac.jp/wp-content/themes/bm2/file/2019_kankeisya_hyouka.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 学校ホームページＵＲＬ： https://www.beauty-mode.ac.jp/

（別紙）

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校名	国際ビューティモード専門学校
設置者名	学校法人　国際総合学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		０人	０人	０人
内訳	第Ⅰ区分	０人	０人	
	第Ⅱ区分	０人	０人	
	第Ⅲ区分	０人	０人	
家計急変による支援対象者（年間）				０人
合計（年間）				０人
（備考） ※2020 年度 4 月より対象学生の為、前年減免・給付対象者はおりません				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	０人	０人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	人	０人	０人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	０人	０人
「警告」の区分に連続して該当	人	０人	０人
計	人	０人	０人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	０人	後半期	０人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	０人
３月以上の停学	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	０人
訓告	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	人	０人	０人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	０人	０人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	人	０人	０人
計	人	０人	０人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは，日本産業規格Ａ４とする。